

(本号執筆者は五十音順による)

## 幼稚園の太陽没す

青柳義智代

倉橋先生は官学で、その生涯を送られた方だが、我々私立幼稚園界の動きについても、深い関心を寄せられていた。かつて、日本私立幼稚園連合会が全国的に組織結成されたときも、心からお喜び下さった。そして連合会その後の発展の状況や、各種の事業についても絶えず注目して下さっていた。毎月発行している「会報」なども詳さに目を通されてよく承知しておられ、「先月号に掲載されていた、あのことはどう決ったか」など質問され、うっかり読み落していた、会報責任者である此方が恐縮したことなどもあった。

そのように、倉橋先生は国公立、私立を含めた、全日本の幼稚園界、つまり日本の幼稚園全体のために、その健全な発達を念願されて生涯を送られた方だと思ふ。一官立幼稚園界

の倉橋先生ではなかったのである。

幼稚園も設置者が異なることによって、国公立、私立と種別されている。そして経営方針や、性格に於て異り区別されている。しかし、異っているが、いづれも「幼児教育」の機関であり「幼稚園」であることに変わりはないのだとよく言われている。事實はそれに相違ない。同じ幼稚園であることに於て共通している。然し、この共通であると云うことで、日本幼稚園全体を納得させ、まとめ得る人格、それは倉橋先生が最後の方だと思ふ。先生のように唯一筋に幼稚園全体の発達を念願されて、公平にして献身的な足跡があつて初めて出来得ることだからだと思ふ。

倉橋先生は中野にお住いになり、私も同じ中野でしかも先生の散歩区域内と云う近さである。加えて愚妻も先生の教え子である関係から、公私共大変お世話になって来た。特に、小生日支事変当初に召集されたときなど、早朝、早速、愛用のステッキを持たれて御訪問下されて、いつもの温容で御丁寧な御挨拶を頂いたときの、印象など、忘れ得ない思い出がある。

近いので、時々お伺いしては、いろいろと幼稚園のことなど御指導頂いて来たが、先生の人の立場を先づ尊重する御態度、そして直正面きって、自分の意見を主張されなないで、極めて、おだやかに、相手を反省させるような言葉遣いなど、

その風格は個人的にもずい分教えられて来たことであつた。幼稚園教育関係者として、真に望ましい御人格であつたとその点からも、敬慕申上げてゐる次第である。

先生の御逝去は日本幼稚園界の太陽没すの感が深い、それも明日、また東天から登る太陽は期待出来ないことを思うと誠に痛惜に堪えないものがある。謹んで、先生の御冥福をお祈りするものである。

(日本私立幼稚園連合会理事長)

## 倉橋先生を偲ぶ

浅野壽美子

四月二十一日朝の新聞紙上に倉橋先生御逝去の記事を見た時は、何かしら幼稚園教育の柱を失つたような淋しさにうたれて傍然としてしまいました。

きけばその前日はお元気に庭を歩かれ、食事もすすまれて安らかにお休みになり、翌朝には大往生をとげられたとのこ

と、さすがに先生らしい御最後であり、またそのお徳の偉大さを今更ながら偲んだ次第です。

先生についての思い出は、私には数かぎりなくあります。第一に思い出されることは、先生の御講演はいつもその内容が極めて豊富であつて、美しいしかも味あることばを使って幼い子どもたちの姿を語られますのには私はいつも陶然としてしまいます。そうかと思うとまた茶目つたつぷりにみんなを笑わせながら測り知れない真髄にふれていて全く感激してしまいます。もう一度あの先生のお話がかがえたらなあ、と思う気持は私ばかりでなく先生を知るものと同じ想いだらうと思ひます。

第二に思い出されることは、私の幼稚園のいまの建物を建築するときその設計図をもつて市の建築技師の方と上京して二三の幼稚園を参観したり、文部省の御意見をきいたりしたあと、何んとかして先生に御指導いただき度いと思つて御病後と承わり気づかいながらお邪魔した時です。先生は喜んでこれを迎えて下さいました。長くお邪魔して若しお体にさわつてはどの私の心配をよそに、いろいろ幼稚園の現状をきいて下さいまして、持つていった設計図をみられて先生の卓抜な御意見を聞かせて下さつたり、またお茶の水の幼稚園を建設された当時のお話などして下さつたりして、色々参考にすることが多かつたのですが、その時先生が言われましたこ